

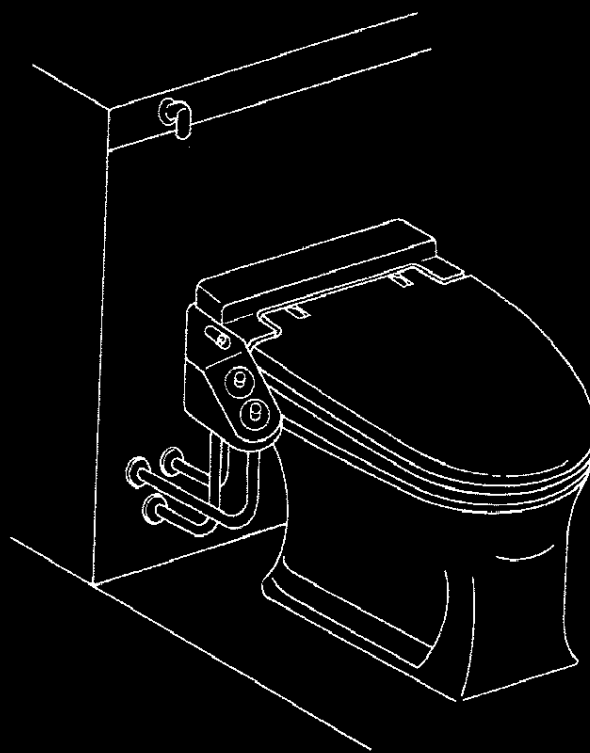
ウォシュレットUX

ホテル用洗淨便座

TCF500/501

TOTO

取付説明書



も く じ

1 はじめに	1
2 部品の確認	2
3 仕 様	3
4 設置完成図	4~5

5 取付方法	6~26
（EGMタイプの場合の取付け）	6~13
（ハーフパネル式の場合の取付け）	14~20
（フルパネル式の場合の取付け）	21~26
6 試運転	27~28

1 はじめに

(1) 工事を行うUBにより、ウォシュレットが異なります。

ウォシュレットの取付けに当っては、下表でウォシュレットの品番をご確認の上、工事を行ってください。

ウォシュレット		レギュラーサイズ (TCF500 TCF500E)	エロンゲートサイズ (TCF501)	連結管
UBのタイプ UBの勝手				
EGM	1624 R		TCF501	TN54-6
	1620 L			
ERK (MP)	1620 R		TCF501	TN54-8
	L			
ERZ (MP)	1418 R	TCF500		TN54-7
	1218 1216 1116 } ㊦ L			TN54-8
ERZ (M)	1216 } ㊦ R	TCF500E		TN54-6
	1116			TN54-7
EHR (NM)	1216(A) L			TN54-7
	1116(A) 1115(A)			
EHK	1418(A) R	TCF500E		TN54-6
	(N) 1218(A) L			TN54-7

注) UB1室に対し、ウォシュレットは部材が2梱包に分かれています。

梱包箱1. (TN54-6ほか)ウォシュレットに接続する連結管

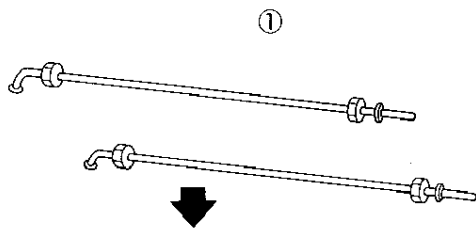
梱包箱2. (TCF500ほか)ウォシュレット本体

(2) 製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

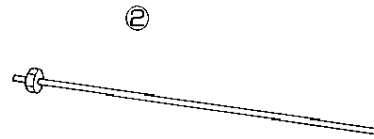
(3) 使用方法ラベルについては、ホテル側と十分確認を行い、指示された場所に正しく張付けてください。

2 部品の確認

- (1) 梱包箱1 (TN54-6、TN54-7、TN54-8)より商品を取り出し、次の部品があることを確認してください。

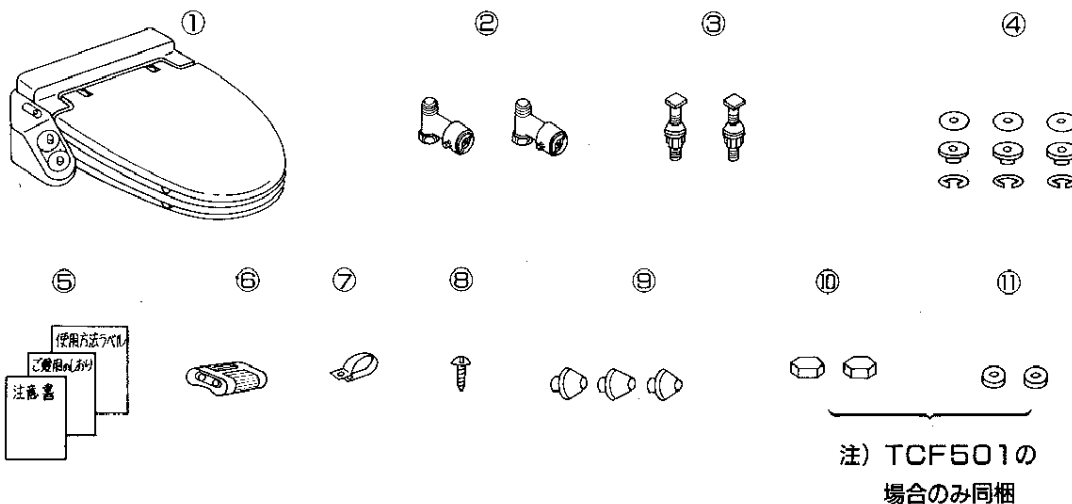


TN54-6…連結管長さ1.05m
 TN54-7…連結管長さ 1.4m
 TN54-8…連結管長さ 1.7m



No.	部品名称
①	連結管 (2本)
②	捨て水管 (1本)

- (2) 梱包箱2 (TCF500、500E及びTCF501)より商品を取り出し、次の部品があることを確認してください。



No.	部品名称	No.	部品名称	
①	ウォシュレット本体	⑥	乾電池 (1個)	
②	分岐金具 (2個)	⑦	捨て水管押え (1個)	
③	取付ボルト (2個)	⑧	押え固定用小ねじ (1個)	
④	パッキン類 (各3個)	⑨	化粧キャップ (3個)	
⑤	ご愛用のしおり 使用方法ラベル・注意書	⑩	分岐金具用 ふさぎふた (2個)	TCF501 の場合のみ
		⑪	ゴムパッキン(2個)	

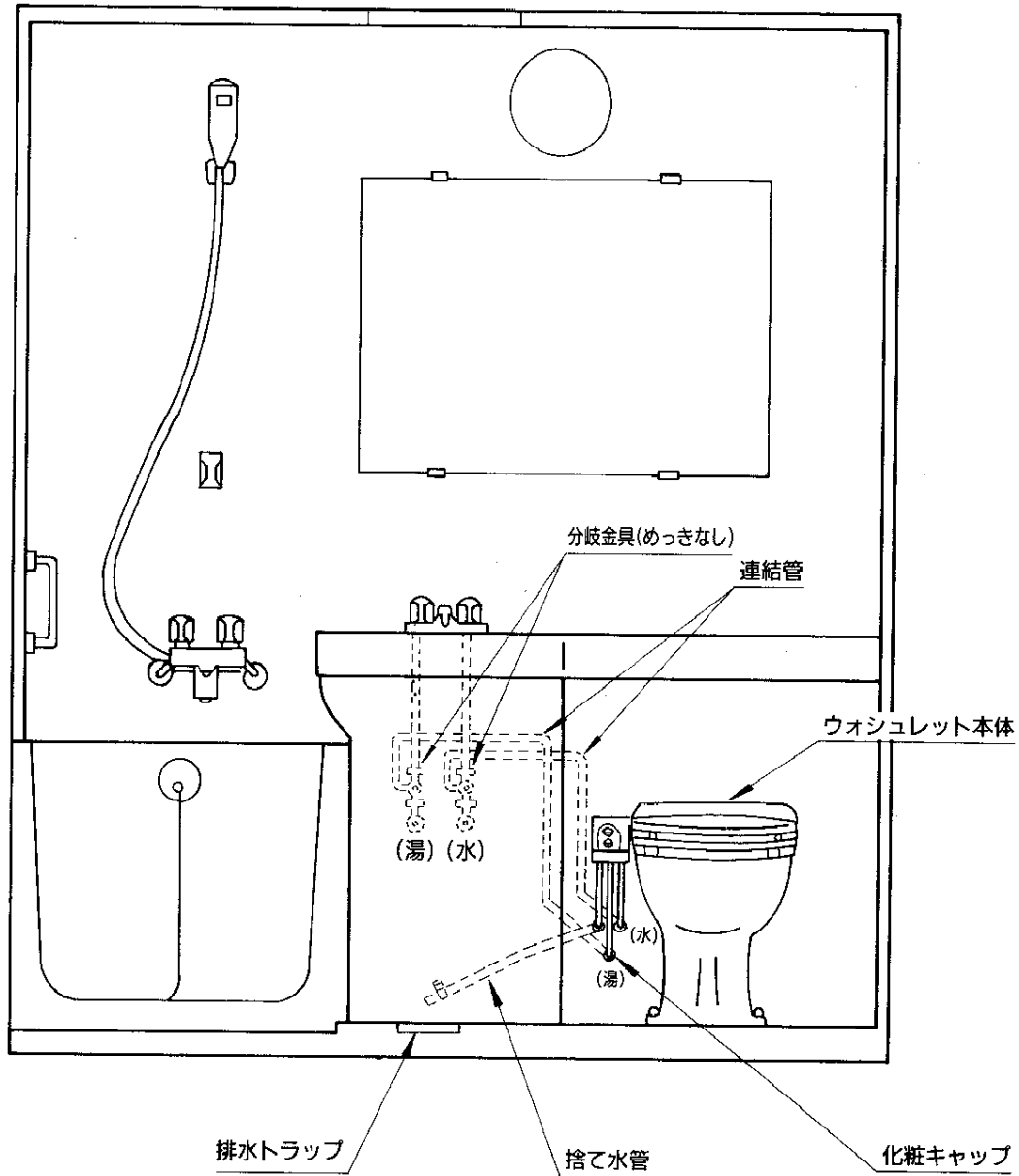
3 仕様

項 目		内 容
定 格		DC6V (乾電池)
機 能		おしり洗浄・ビデ洗浄
洗 浄 装 置	吐 水 量	おしり洗浄 ビデ洗浄 吐水量調節範囲0.6~0.9ℓ/分 (給水・給湯圧2.0kgf/cm ² のとき)
	洗浄ノズル	おしり洗浄 ビデ洗浄 φ0.9×3穴
	吐水温度	標準38°C
	湯水混合方式	サーモスタット式
	安全装置	温度センサー検知によるコントローラ制御
使 用 条 件	使 用 水	上 水
	最低必要給水給湯圧力	0.7kgf/cm ² (給湯圧≦給水圧)
	最高給水給湯圧力	6.0kgf/cm ² (給湯圧≦給水圧)
	給水温度	5~30°C
	給湯温度	45~70°C
	設置ユニット	換気機能付ユニット
そ の 他	着座スイッチ	荷重検知式ゴムスイッチ
	給湯温度チェック	着座検知による自動冷水捨て水方式
	乾電池切れ表示	準備中ランプ点滅表示
製 品 寸 法	TCF500・500E	幅47cm 奥行49cm 高さ10cm
	TCF501	幅47cm 奥行52cm 高さ10cm
製 品 重 量		7kg

4 設置完成図

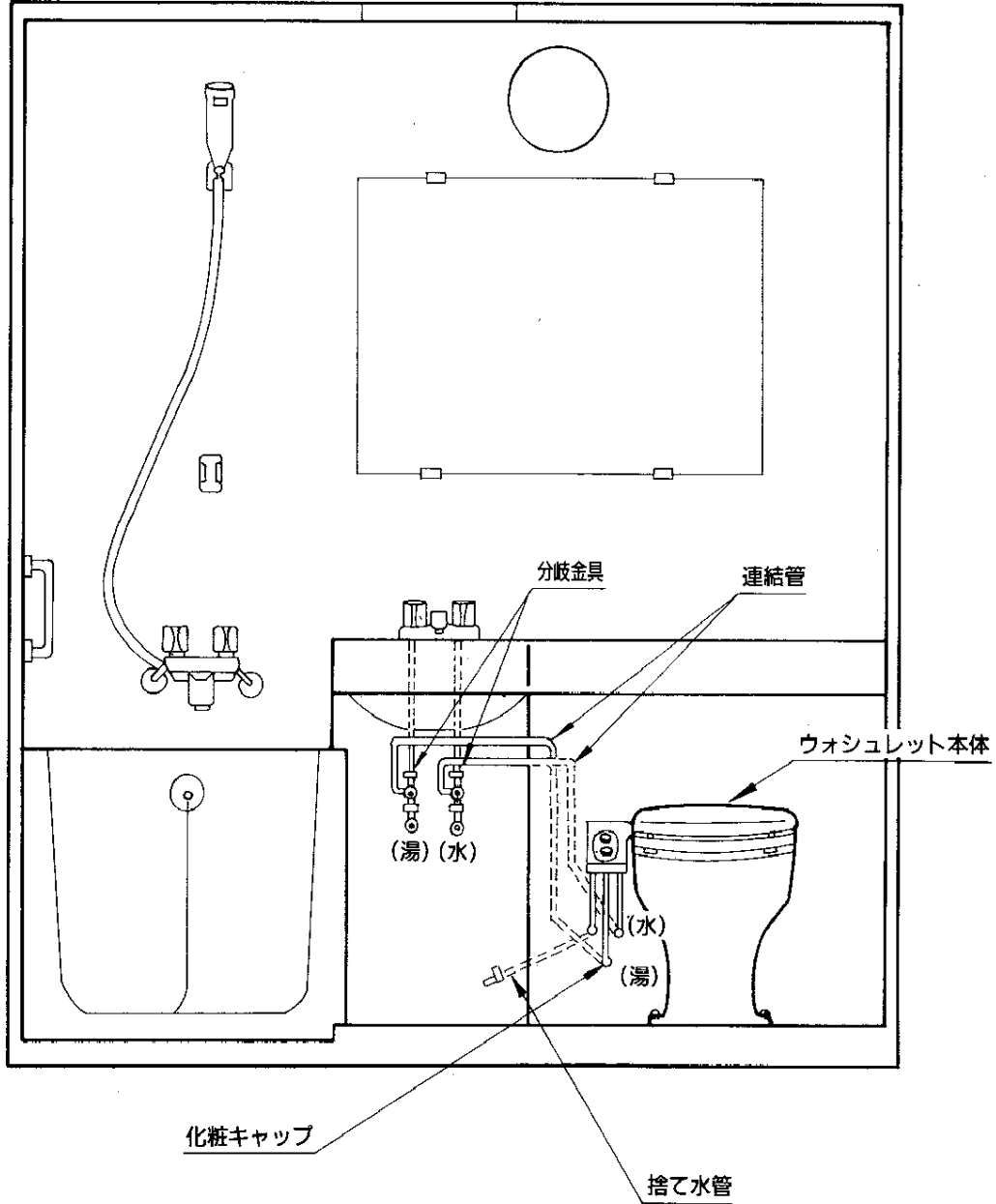
ハーフパネル式の場合 (新ERタイプ1216、1116も含む)

※図はRタイプの場合を示します。(Lタイプの場合は本図の逆になります。)
※短辺側にドアがある場合も同じです。



フルパネル式の場合 (旧ERタイプ1216、1116も含む)

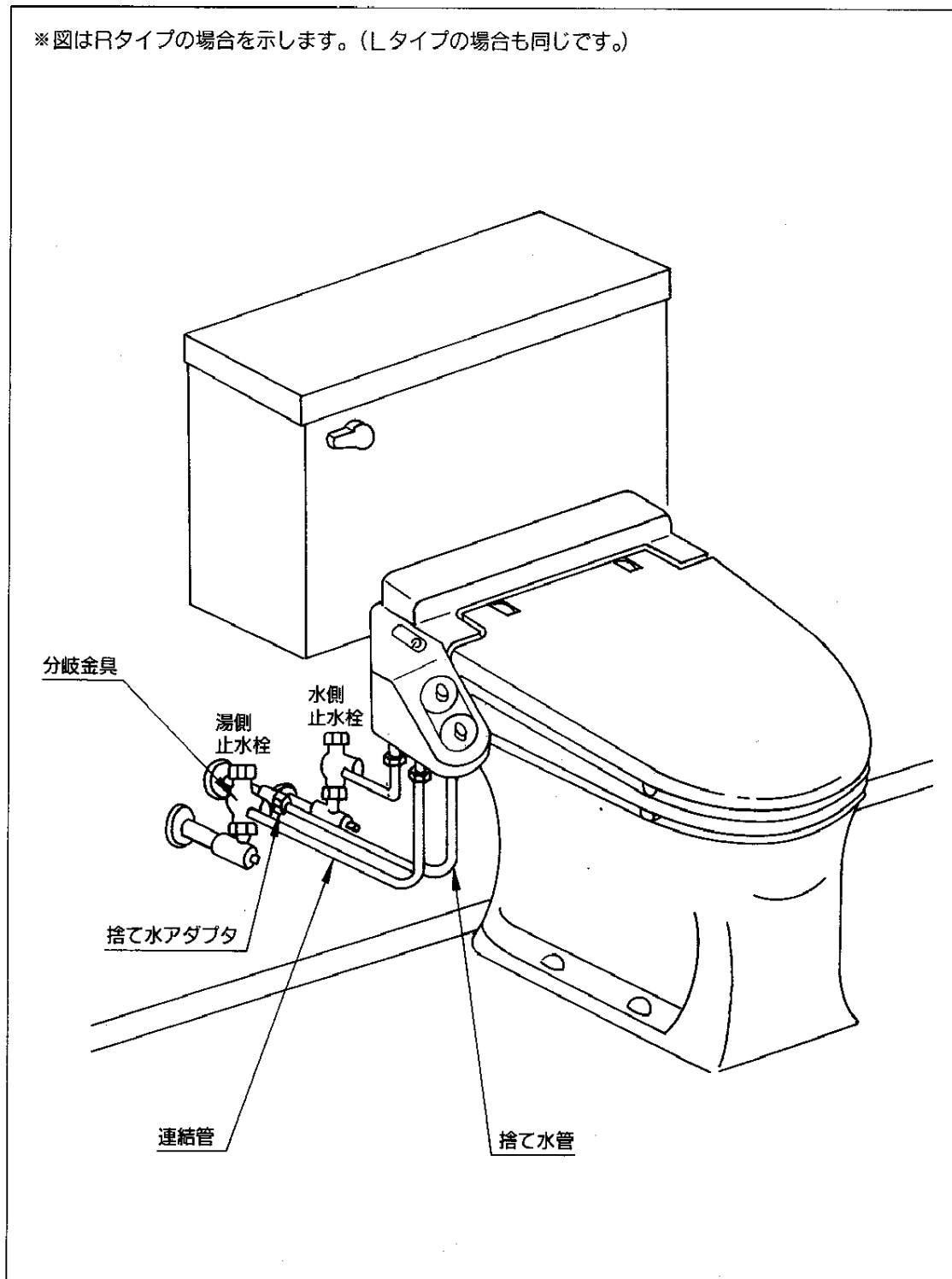
※図はRタイプの場合を示します。(Lタイプの場合は本図の逆になります)
※短辺側にドアがある場合も同じです。



5 取付方法

1. EGMタイプの場合

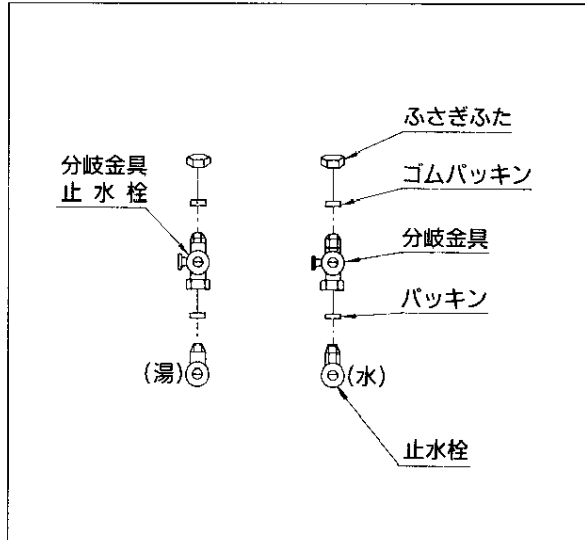
1-1 新設現場の場合



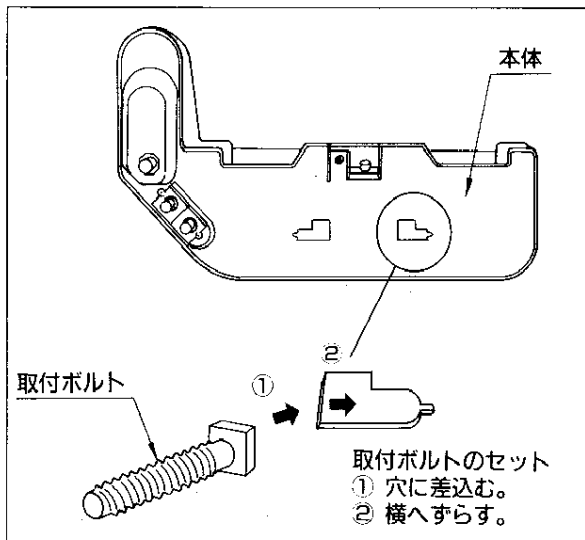
① 分岐金具にゴムパッキンをセットし、ふさぎふたを取付けてください。

② 分岐金具を止水栓に接続してください。

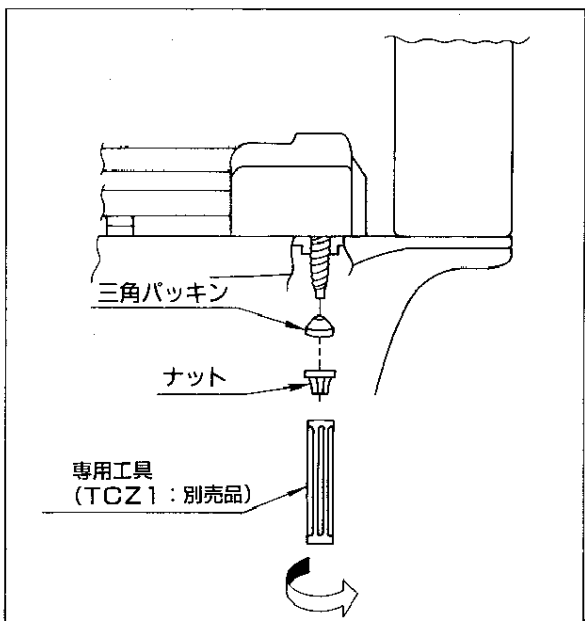
注) 分岐金具を接続する際は、分岐金具止水栓が前側に向いた状態にセットしてください。



③ ウォシュレット本体底面の穴に取付ボルトをセットしてください。



④ 便器の取付穴に取付ボルトを差込み、便器の下から取付ボルトに三角パッキン・ナットの順に入れたのち、ナットで確実に締付けてください。本体を前後左右に動かして、便器との取合い位置を調整してから、ナットをウォシュレット本体がガタつかないように専用工具（TCZ1：別売品）で確実に締付けてください。

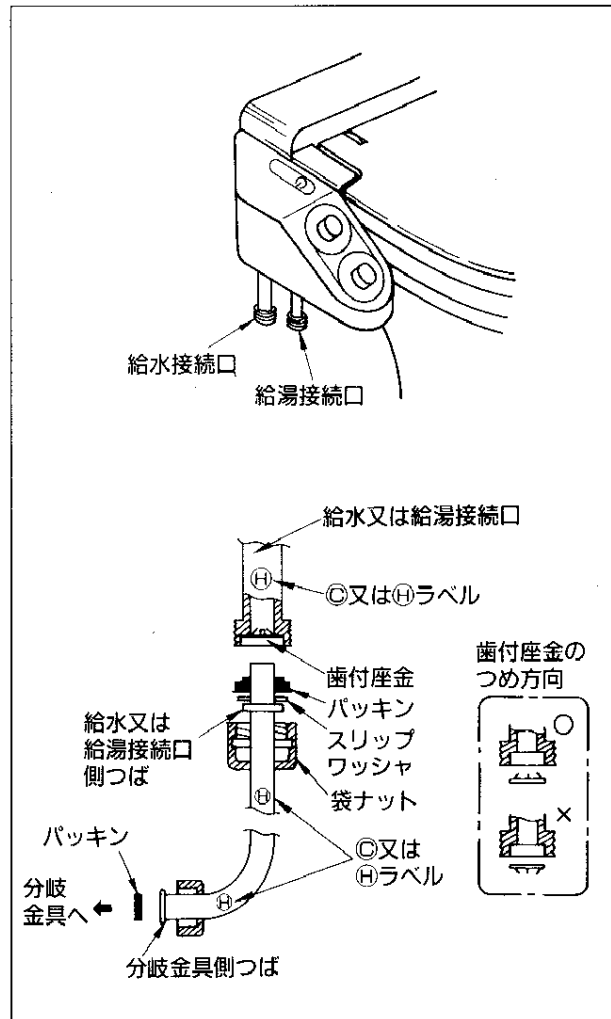


⑤ ウォシュレット本体と分岐金具を連結管で接続してください。

- a) 給水接続口及び給湯接続口に歯付座金が正しい方向につけられているか確認してください。
- b) 連結管にスリップワッシャ・パッキンをあらかじめ通しておきます。
- c) 連結管を給水又は給湯接続口に、強くいっぱいまで差込みます。
- d) 袋ナットを締付けてください。
(連結管が抜けなことを確認してください。)

注) 連結管接続の際は、連結管及び接続部に◎又は⊕ラベル表示をしておりますので給湯・給水の接続箇所をまちがえないように注意してください。

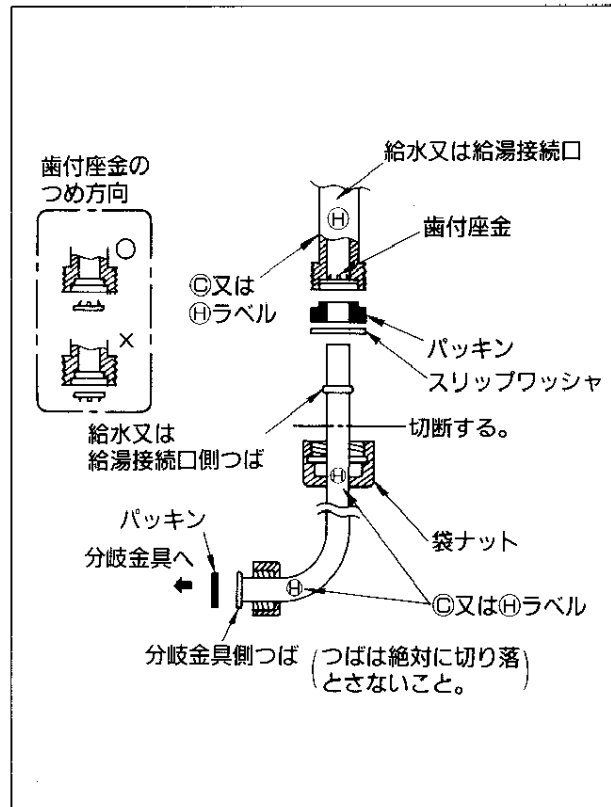
注) 曲げるときは、連結管をつぶさないように注意してください。



★連結管を切断して接続する場合の方法

連結管が長すぎて不具合な場合は、次の要領で切断し、接続を行ってください。

- a) 連結管を短くするときは、パイプカッター等で「給水又は給湯接続口側つば」のついている方を切断してください。(分岐金具側は、絶対に切らないでください。)切断後は水洗いして、切り粉を取除いてください。
- b) 給水・給湯接続口に歯付座金が正しい方向についているか確認してください。
- c) 連結管に袋ナット・スリップワッシャ・パッキンの順に通してから、給水又は給湯接続口に強くいっぱいまで差込みます。このとき、連結管は20mm以上差込むようにしてください。
- d) 袋ナットを強く手締めした状態で連結管を強く引張って、抜けなことを確認してから本締めしてください。

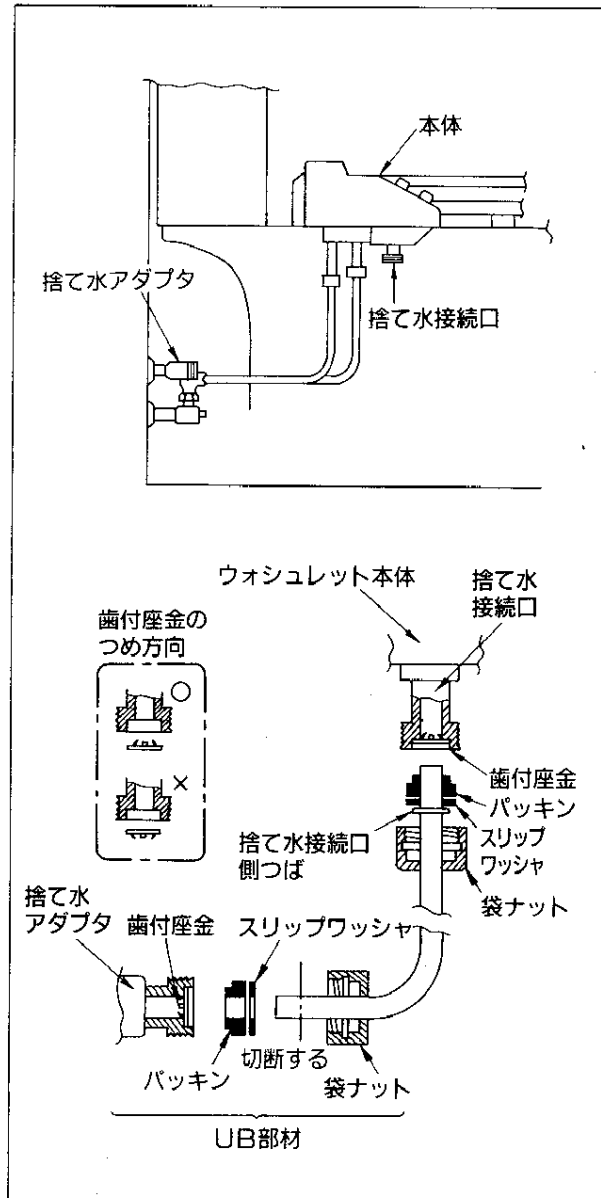


⑥ 捨て水管でウォシュレット本体と捨て水アダプタ間を接続してください。

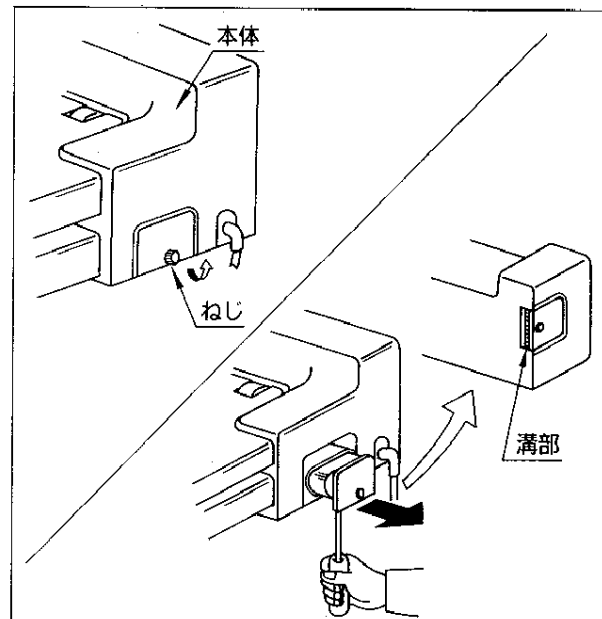
a) 接続要領は、8ページ⑤項と同様です。

b) 捨て水管が長すぎる場合は、捨て水アダプタ側をパイプカッター等で切断してください（捨て水接続口側は切らないでください）。切断後は水洗いし、切り粉を取除いてください。

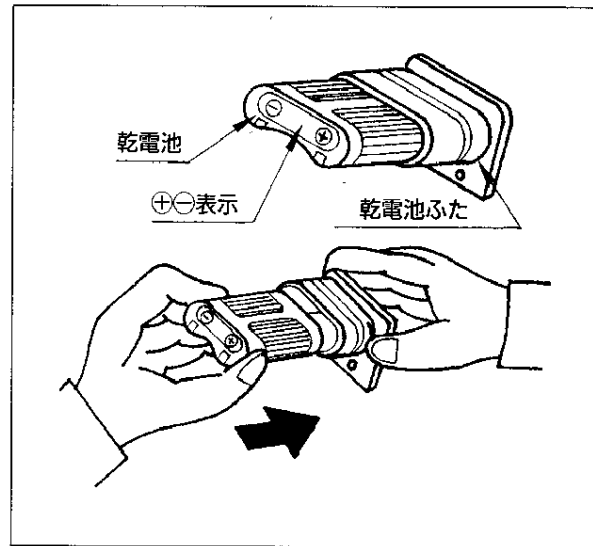
注) 捨て水アダプタ側の袋ナット・パッキン・スリップワッシャはUB部材です。



⑦ 本体右側ねじを外し、市販の○ドライバーを乾電池ふたの下側の溝部に当て、手前に引きながら、乾電池ふたを取外してください。

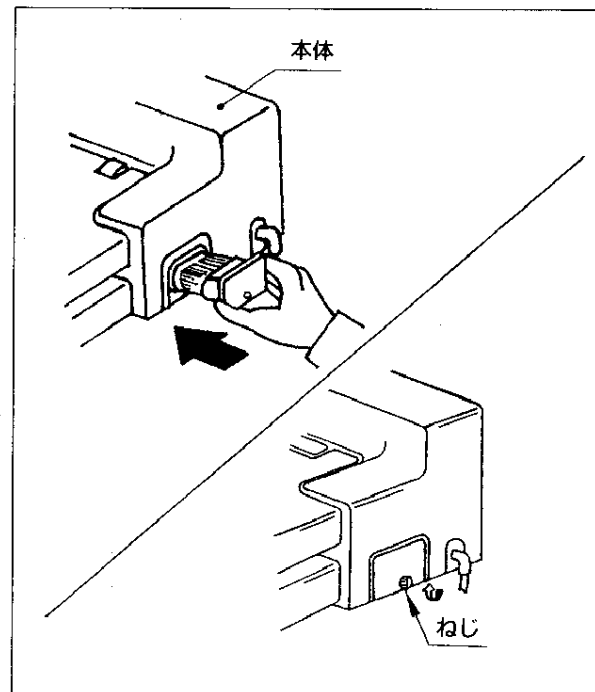


- ⑧ 乾電池をふたにセットしてください。乾電池を組込む際は、 \oplus \ominus 表示が外側凹部が下側になるようにしてください。



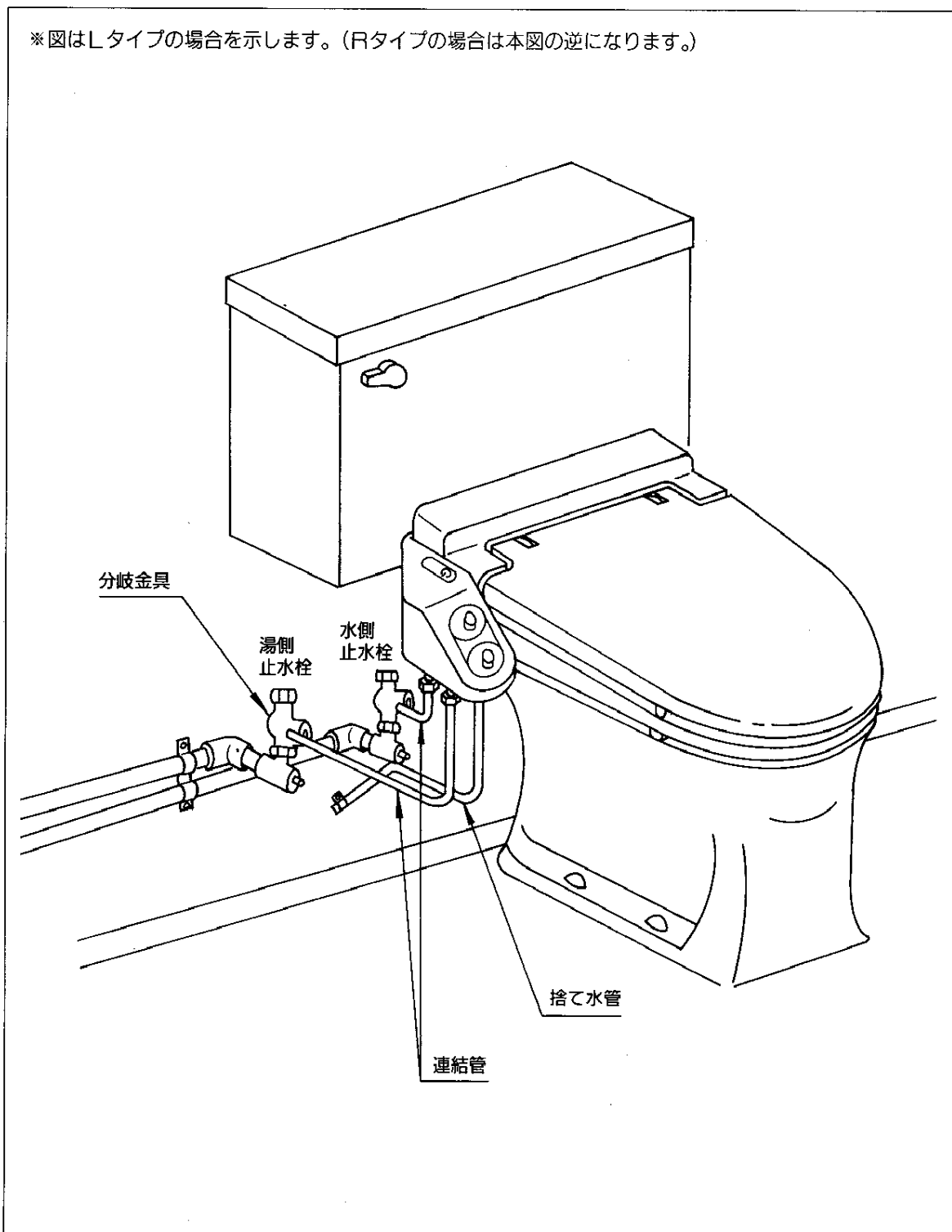
- ⑨ 乾電池ふたを本体に押し込んでセットし、ねじで固定してください。

注) 乾電池取付後、通水テストを行ってください。

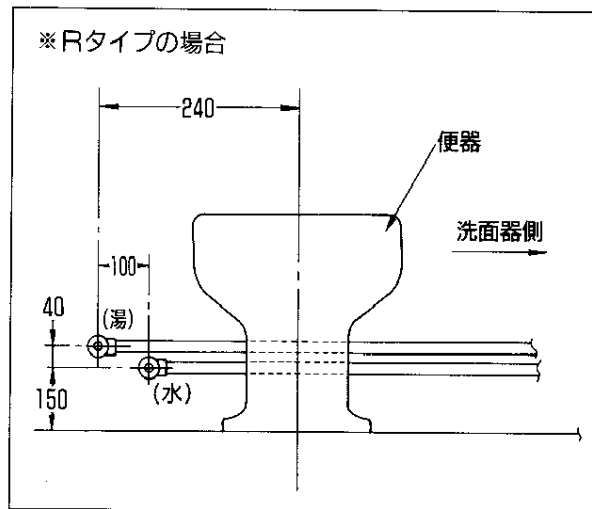
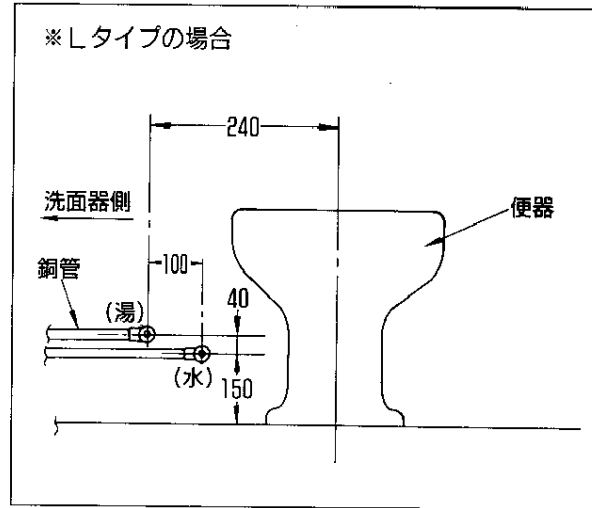


- ⑩ 取付完了後、便座・便ふたにキズが付かないようにポリ袋をかぶせておいてください。

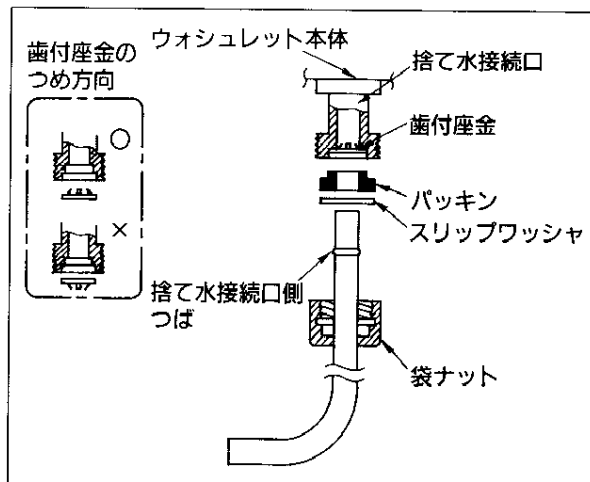
1-2 既設現場の場合



- ① 洗面器側止水栓から便器まで、右図の位置まで銅管をセットしてください。

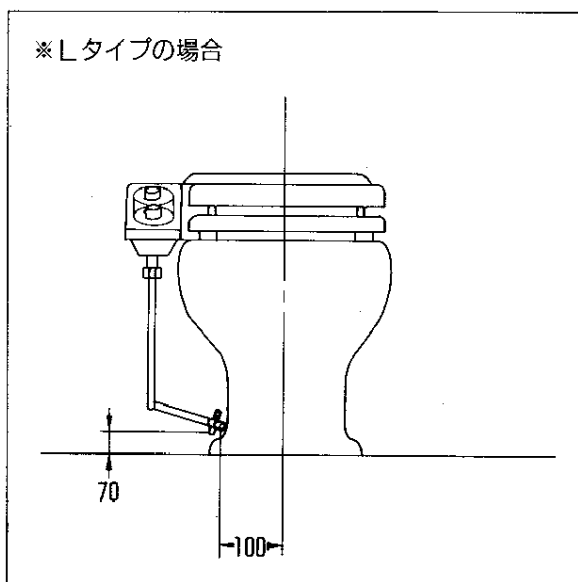
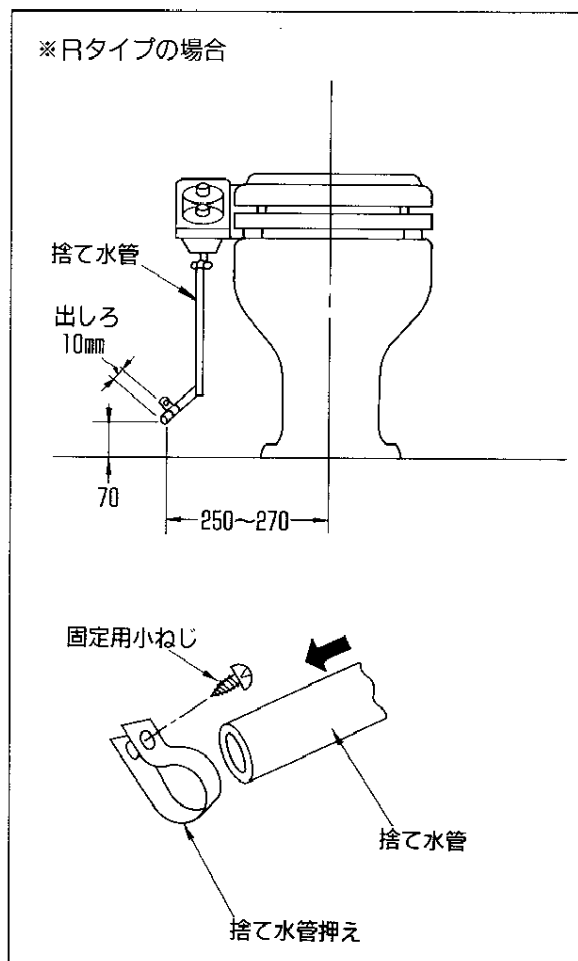


- ② 銅管に分岐金具を接続してください。接続要領は7ページ①、②項と同様です。
- ③ セットされている便座を取外し、ウォシュレットを便器へセットしてください。セット要領は、7ページ③、④項と同様です。
- ④ ウォシュレット本体と分岐金具を連結管で接続してください。接続要領は8ページ⑤項と同様です。
- ⑤ 捨て水管をウォシュレット本体に接続してください。



- ⑥ 捨て水管の先端を図の位置で切断し、先端を捨て水管押えで、壁の図の位置に固定してください。

注) 固定用小ねじにシリコンを塗布して固定してください。

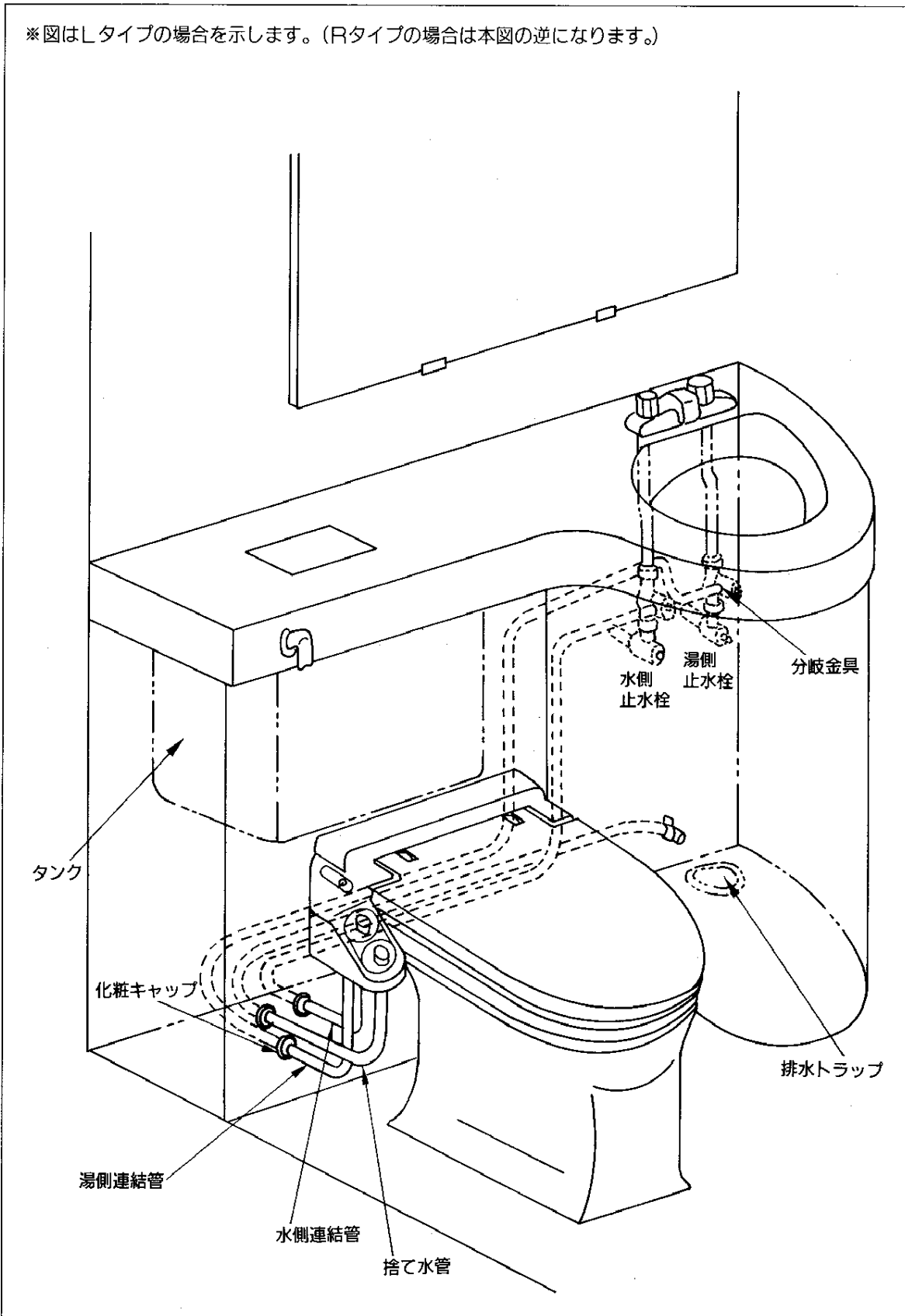


- ⑦ 乾電池をウォシュレット本体にセットしてください。セット要領は9ページ⑦項及び10ページ⑧、⑨項と同様です。

- ⑧ 取付完了後、便座・便ふたにキズが付かないようにポリ袋をかぶせておいてください。

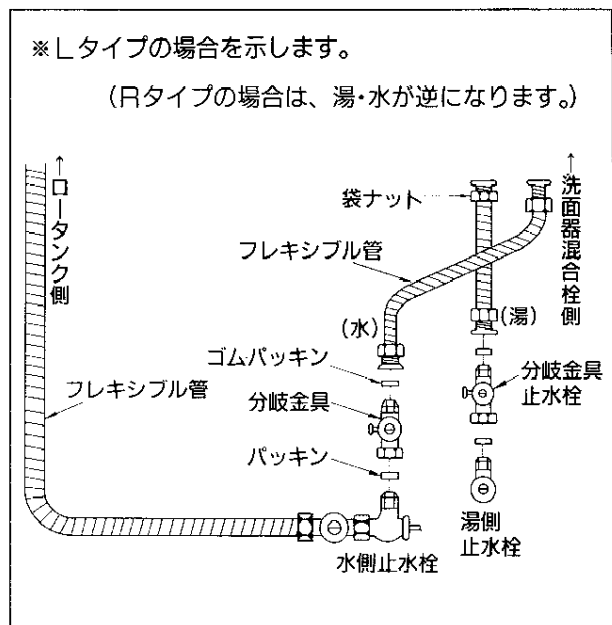
2. ハーフパネル式の場合 (新ERタイプ1216、1116も含む)

2-1 新設現場の場合

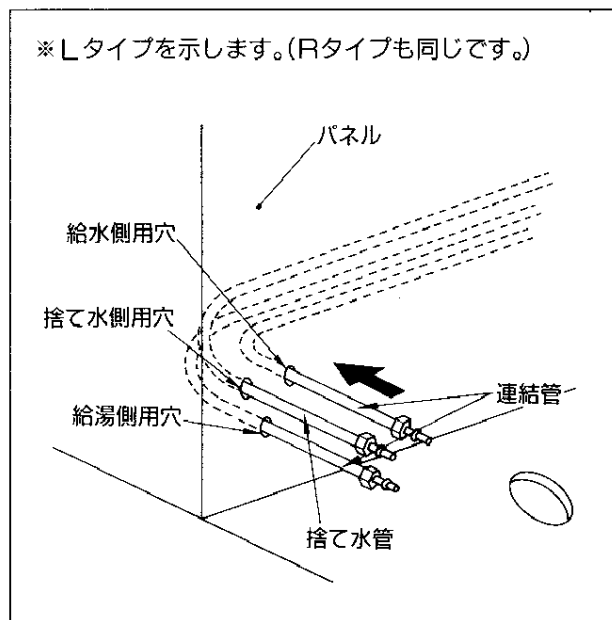


- ① 洗面器及びロータンク用フレキシブル管と止水栓の間にウォシュレット用分岐金具を接続してください。

注) 分岐金具接続の際は、分岐金具止水栓が前側に向いた状態にセットしてください。

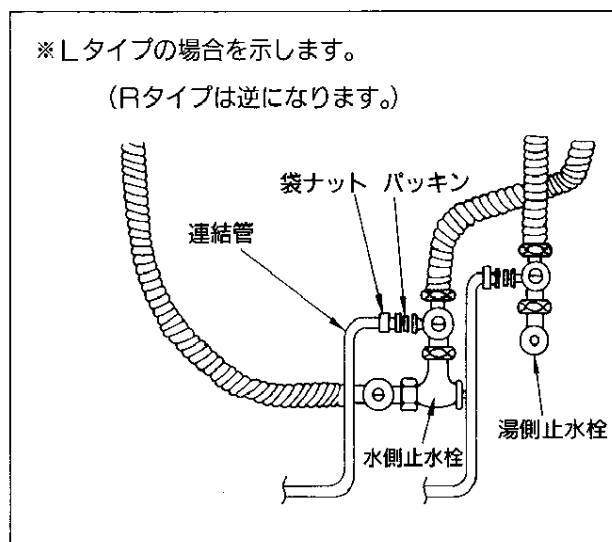


- ② 前パネル取付後、連結管2本・捨て水管1本をパネルの穴に通してください。



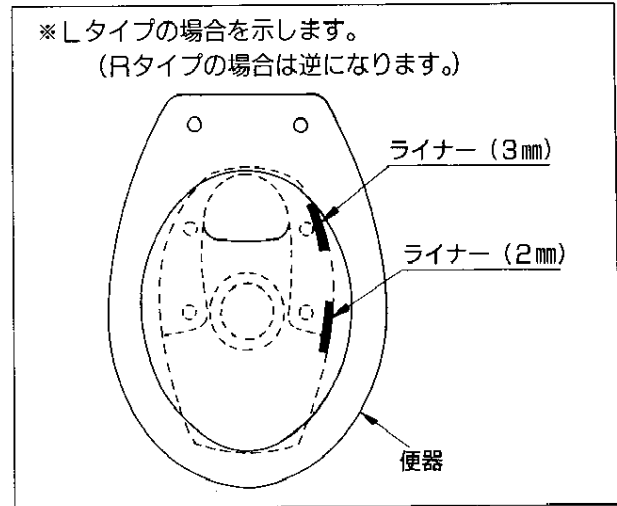
- ③ 連結管2本を分岐金具に接続してください。

注) 連結管にⓂ、ⓐラベル表示をしておりますので、連結管接続の際は、給湯・給水の接続箇所をまちがえないように注意してください。



- ④ ERタイプ1216、1116及びEHタイプ1216、1116、1115のUBで便器をセットする場合は、右図の部分にライナーをはさんで、できるだけ便器を水平にして取付けてください。
ライナーは、便器からはみ出さないようにしてください。

注) ライナーはUB部材です。

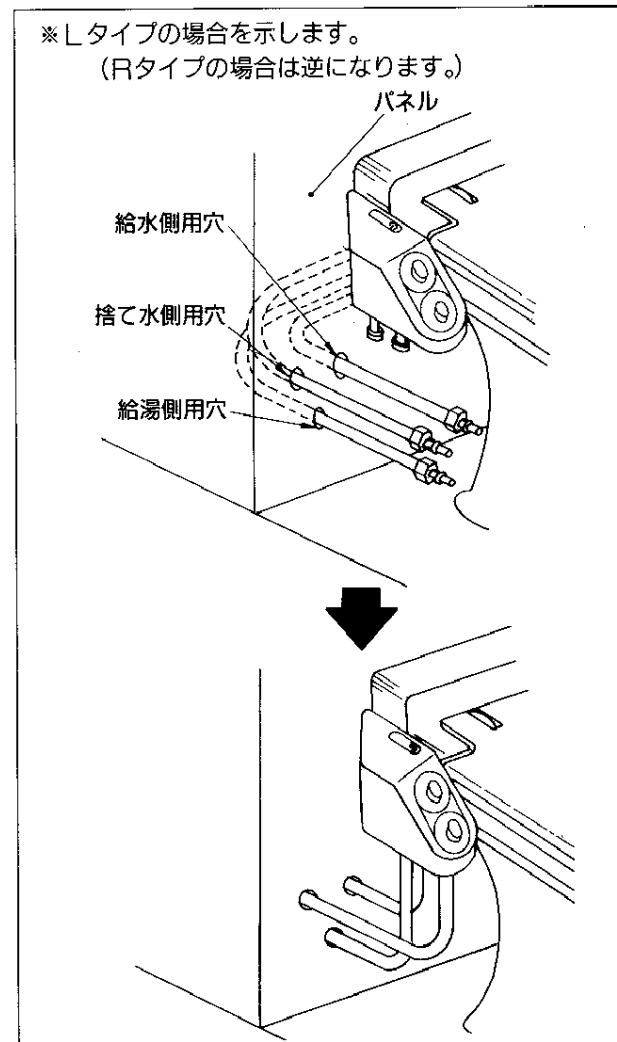


- ⑤ 便器を取付後、ウォシュレット本体を便器にセットしてください。セット要領は、7ページ③、④項と同様です。

- ⑥ 連結管2本、捨て水管をウォシュレット本体に接続してください。

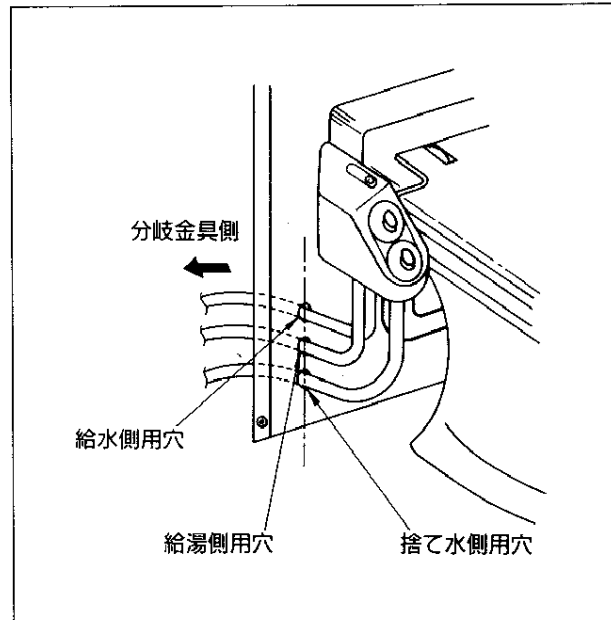
※ 連結管をウォシュレット本体に接続する際は、8ページ⑤項と同様です。

※ 捨て水管をウォシュレット本体に接続する際は、12ページ⑥項と同様です。



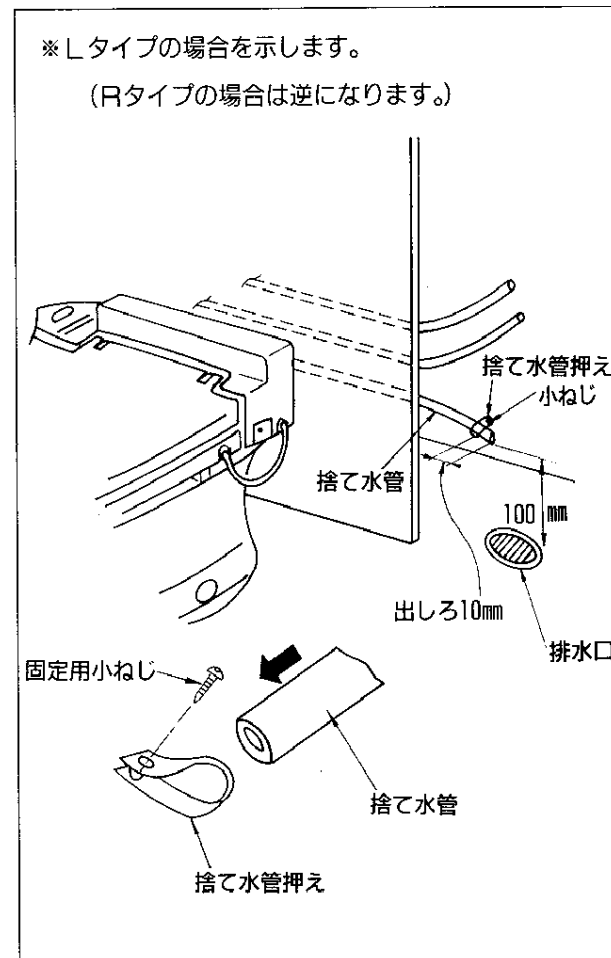
※ EHR1216、1116、1115及びERZ
1216、1116タイプのRタイプの場合、
図のように穴位置が異なります。

注) ERZタイプは新タイプUBの場合を対
象とします。

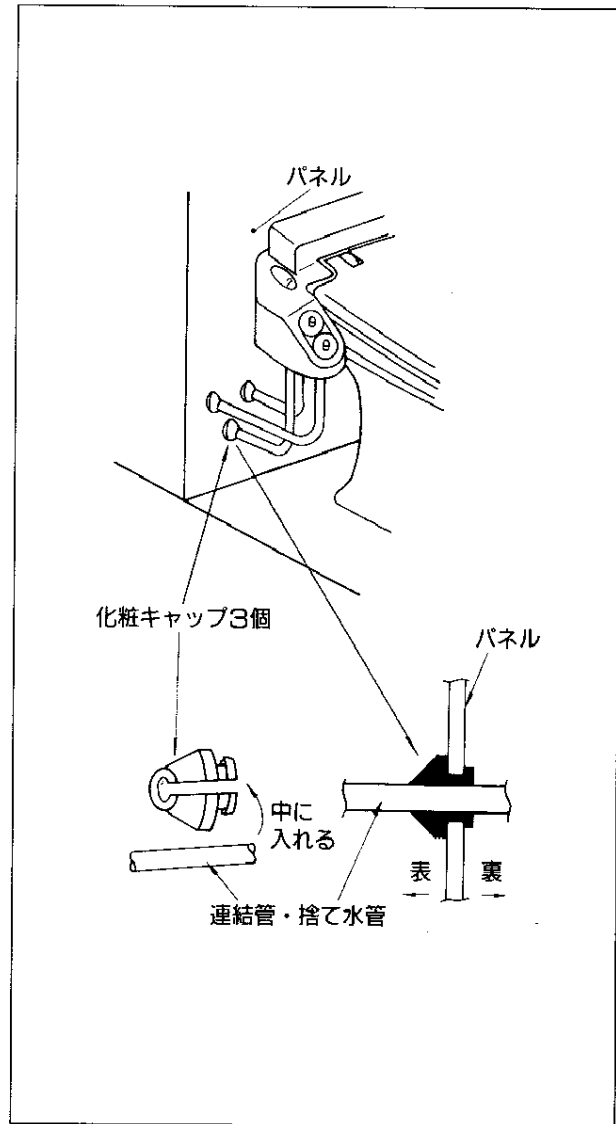


⑦ 捨て水管を排水口までの長さで切断し、先端を
図のように捨て水管押えで、壁に固定してく
ださい。

注) 固定用小ねじにシリコンを塗布して固定してく
ださい。



- ⑨ 連結管及び捨て水管に化粧キャップを通し、化粧キャップをパネルに固定してください。



- ⑩ 乾電池をウォシュレット本体にセットしてください。セット要領は9ページ⑦項及び10ページ⑧、⑨と同様です。

- ⑪ 取付完了後、便座・便ふたにキズが付かないようにポリ袋をかぶせておいてください。

2-2 既設現場の場合

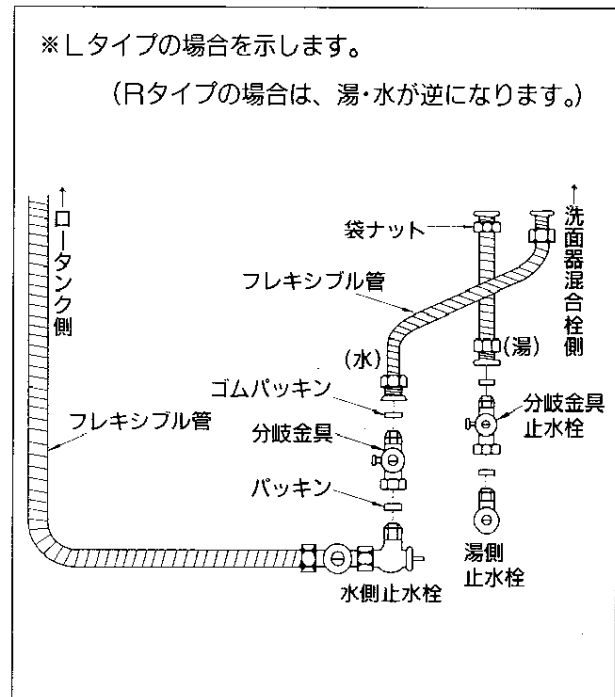
① 点検口パネルを取外したのち、分岐金具をセットしてください。

a) 洗面器側止水栓を⊖ドライバーで閉めてください。

b) 袋ナットをスパナで取外してください。

c) 分岐金具を図のように接続してください。

注) 分岐金具接続の際は、分岐金具止水栓が前側に向いた状態にセットしてください。

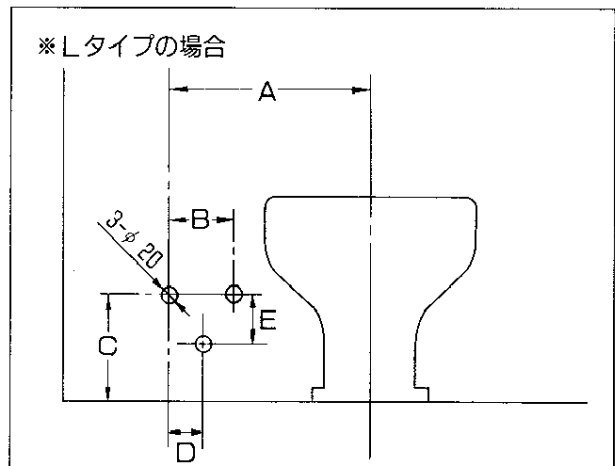


② $\phi 20$ のホルソーで、前パネルに穴3ヶ所をあけてください。

〈Lタイプの場合〉

UBタイプ \ 寸法	A	B	C	D	E
EHK 1418、1218	220	50	150	25	50
④ ERZ1216、1116 EHR 1216、1116、1115	220	40	150	20	50

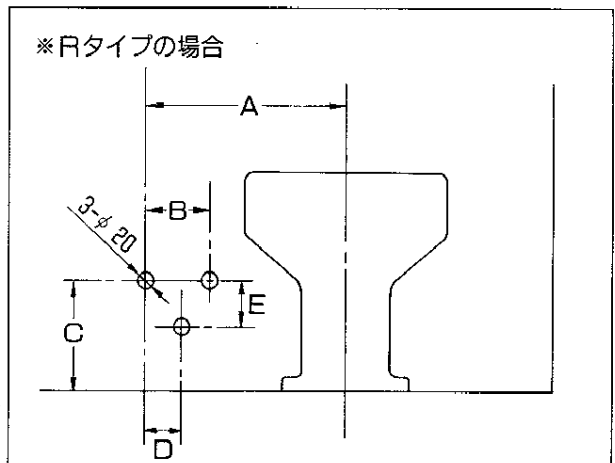
注) 穴径は全て $\phi 20$ です。



〈Rタイプの場合〉

UBタイプ \ 寸法	A	B	C	D	E
EHK 1418、1218	180	40	150	20	50

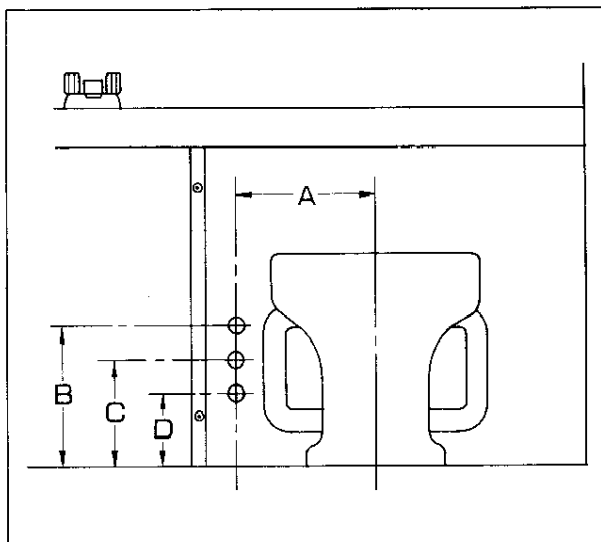
※ERZ1216、1116、EHR1216、1116、1115については、20ページをご覧ください。



〈Rタイプの場合〉

UBタイプ \ 寸法	A	B	C	D
ERZ 1216、1116	150	180	140	100
EHR 1216、1116、1115	150	180	140	100

注) 穴あけしたのち、切屑が残らないように掃除してください。

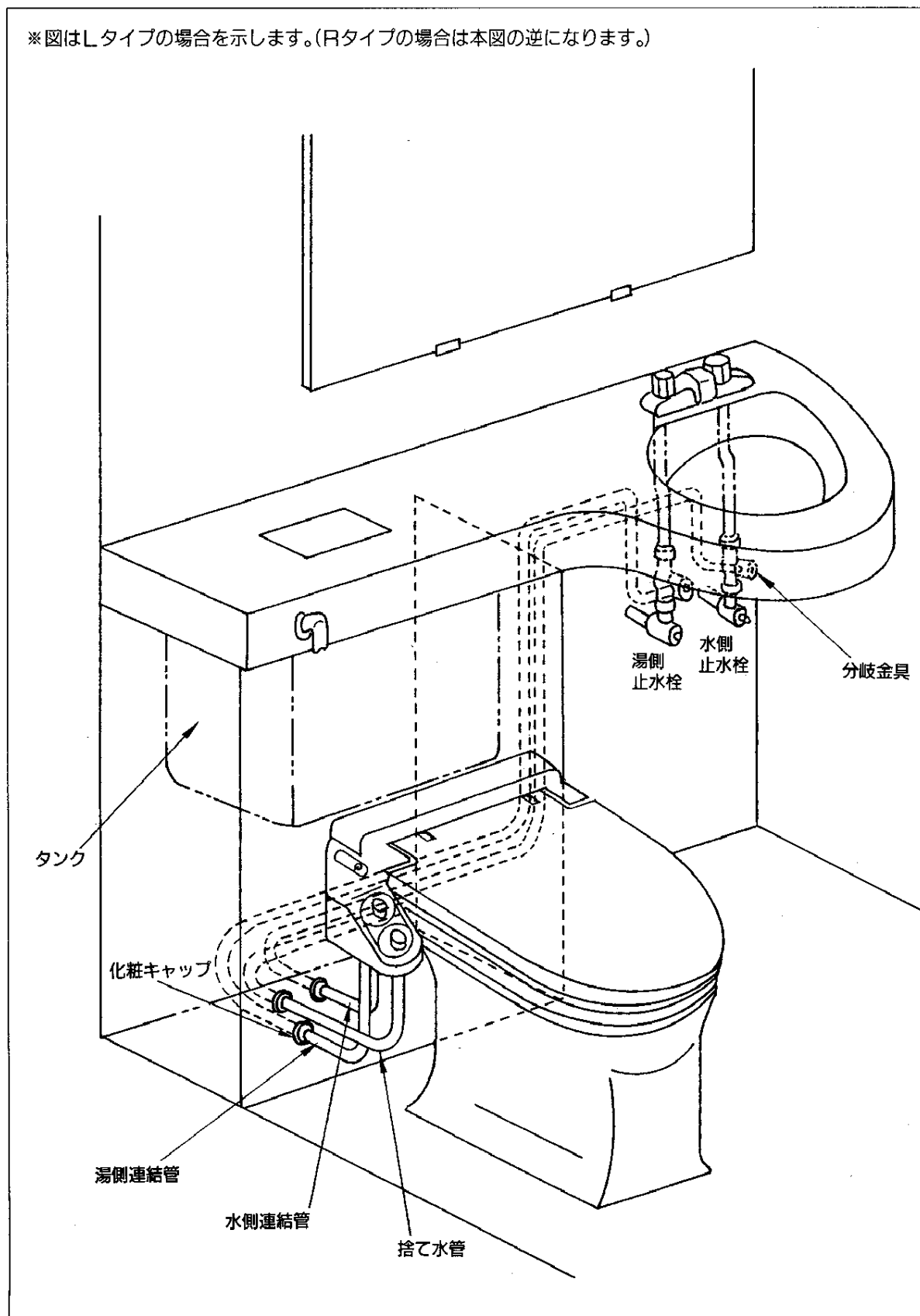


- ③ セットされている便座を取外し、ウォシュレット本体を便器へセットしてください。セット要領は、7ページ③、④項と同様です。
- ④ 連結管2本・捨て水管1本を15ページ②項の要領で、パネルの穴に通したのち、8ページ⑤項及び12ページ⑥項と同様に接続を行ってください。
- ⑤ 捨て水管を17ページ⑦項の要領で、固定してください。
- ⑥ 連結管及び捨て水管に18ページ⑧項で、化粧キャップを通し、パネルに固定してください。
- ⑦ 乾電池をウォシュレット本体にセットしてください。セット要領は9ページ⑦項及び10ページ⑧、⑨項と同様です。
- ⑧ 取付完了後、便座・便ふたにキズが付かないようにポリ袋をかぶせておいてください。

注) ERZ1216、1116及びEHR1216、1116、1115のRタイプについては、ウォシュレット取付後、点検口パネルを取付ける際、ウォシュレット本体にパネルが当たり取付けできませんので、取付け可能な点検口パネルが別途必要になります。もよりの当社事業所にご相談ください。

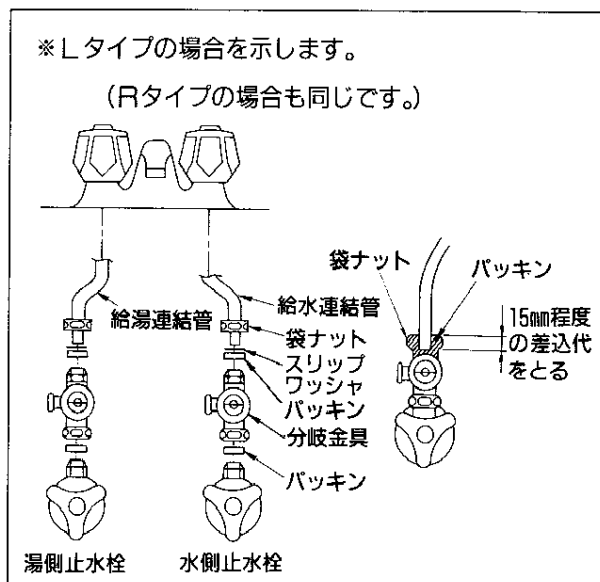
3. フルパネル式の場合 (旧ERタイプ1216、1116も含む)

3-1 新設現場の場合

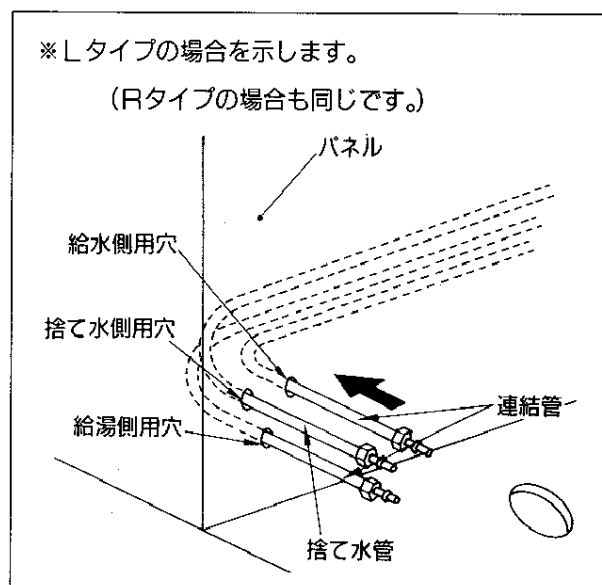


- ① ウォシュレット用分岐金具を止水栓本体に接続してください。

注) 洗面器用給水連結管・給湯連結管は15mm程度の差込代を確保して切断したのち分岐金具に接続してください。

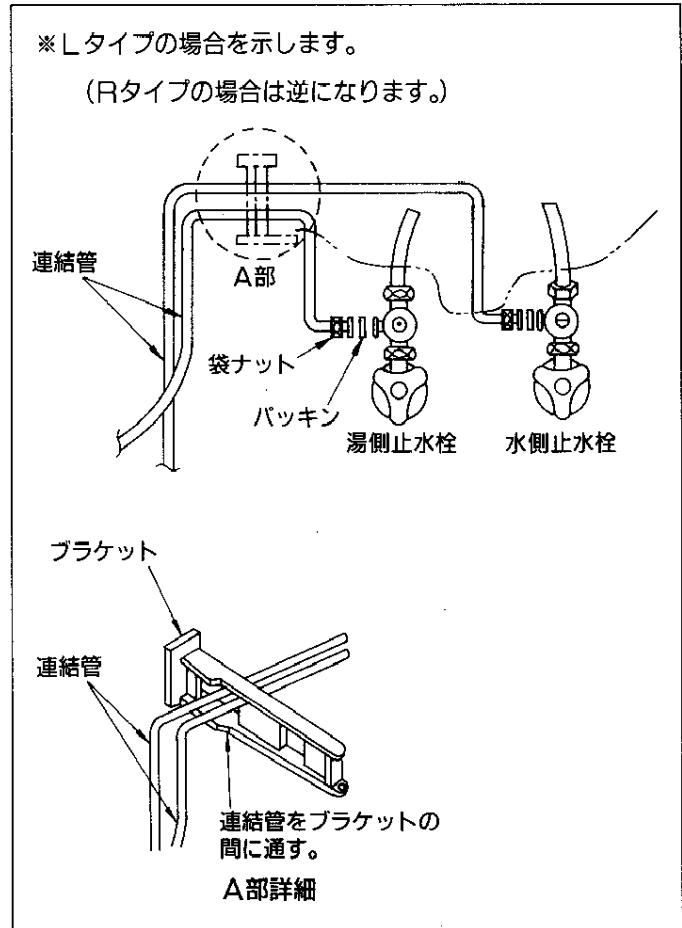


- ② 前パネル取付け後、連結管2本・捨て水管1本をパネルの穴に通してください。



- ③ 連結管をカウンター固定用ブラケットの間を通し、分岐金具に接続してください。

注) 連結管に⊕、⊙ラベル表示をしておりますので、連結管接続の際は、給湯・給水の接続箇所をまちがえないように注意してください。

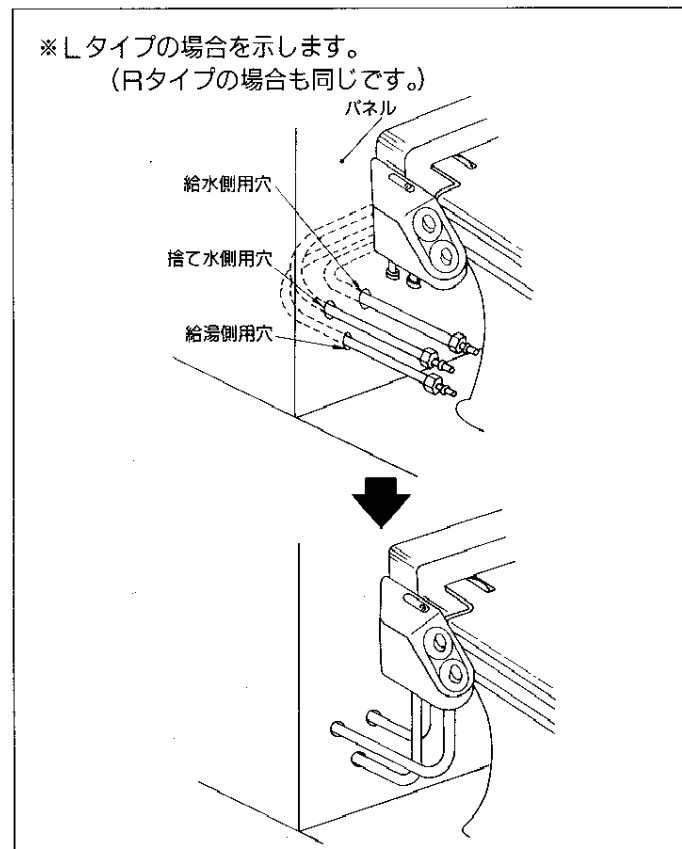


- ④ 便器を取付後、ウォシュレット本体を便器にセットしてください。セット要領は、7ページ③、④項と同様です。

- ⑤ 連結管2本・捨て水管1本をウォシュレット本体に接続してください。

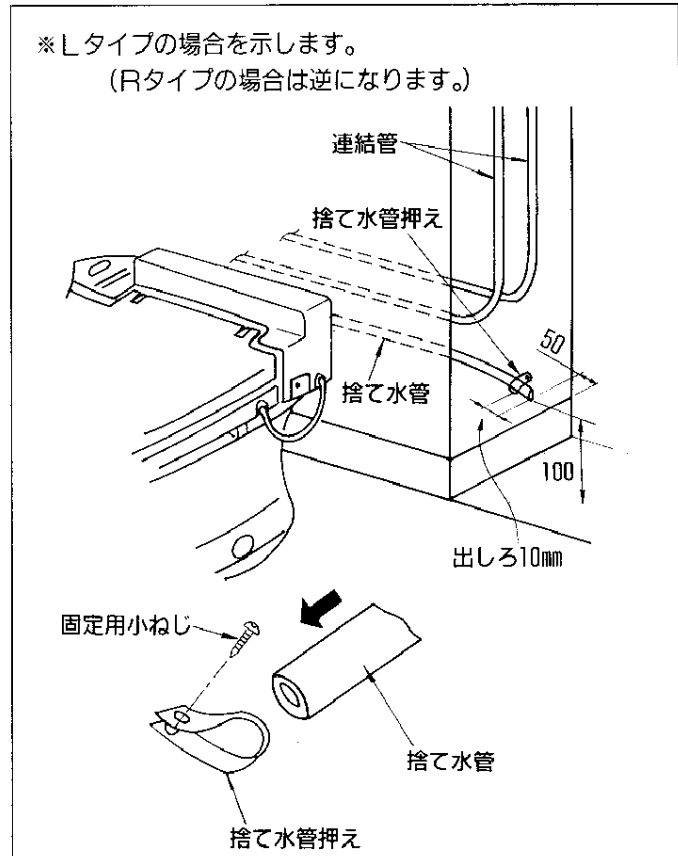
※ 連結管をウォシュレット本体に接続する要領は、8ページ⑥項と同様です。

※ 捨て水管をウォシュレット本体に接続する要領は、12ページ⑥項と同様です。

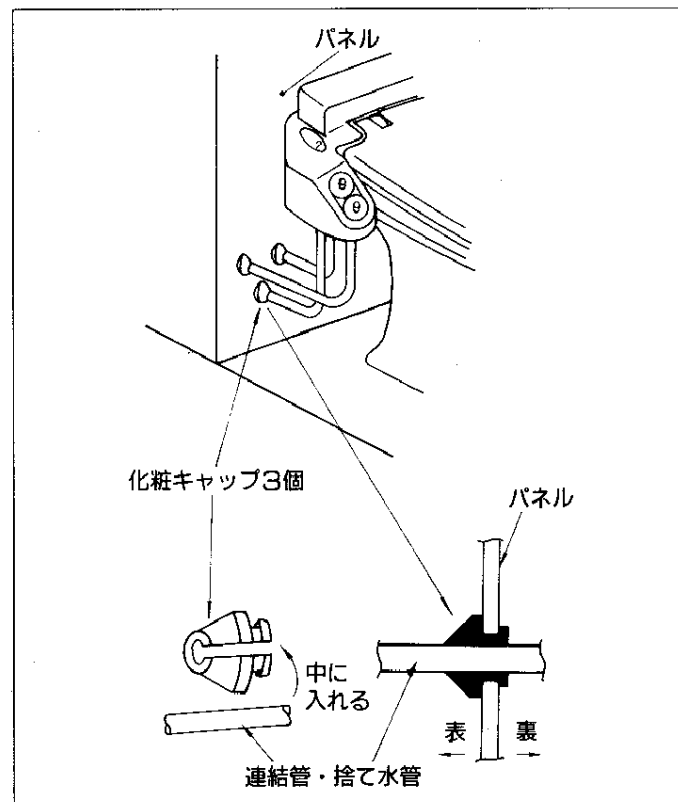


- ⑥ 捨て水管の先端が点検口パネル付近までくる長さで切断し、先端を図のように捨て水管押えで壁に固定してください。

注) 固定用小ねじにシリコンを塗布して固定してください。



- ⑦ 連結管及び捨て水管に化粧キャップを通し、化粧キャップをパネルに固定してください。



- ⑧ 乾電池をウォシュレット本体にセットしてください。セット要領は9ページ⑦項及び10ページ⑧、⑨項と同様です。

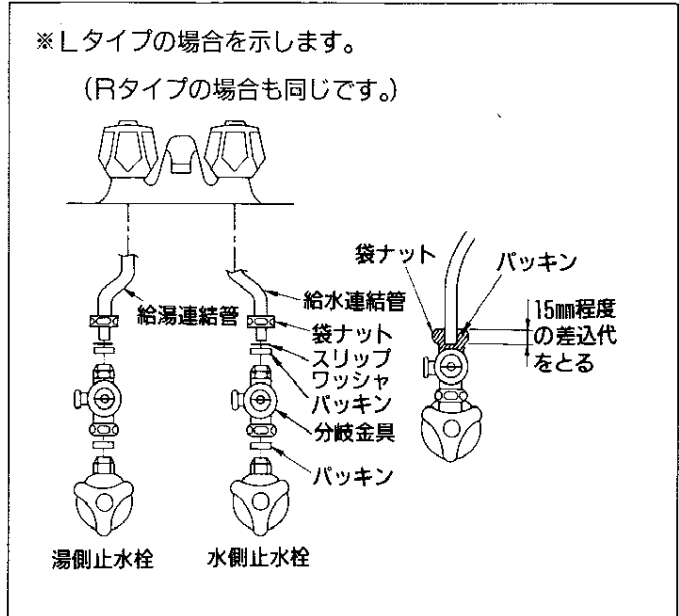
- ⑨ 取付完了後、便座・便ふたにキズが付かないようにポリ袋をかぶせておいてください。

3-2 既設現場の場合

① ウォシュレット用分岐金具を止水栓本体に接続してください。

- a) 洗面器側止水栓を閉めてください。
- b) 袋ナットをスパナで取外してください。
- c) 分岐金具を図のように接続してください。

注) 分岐金具接続の際は、分岐金具止水栓が前側に向いた状態にセットしてください。

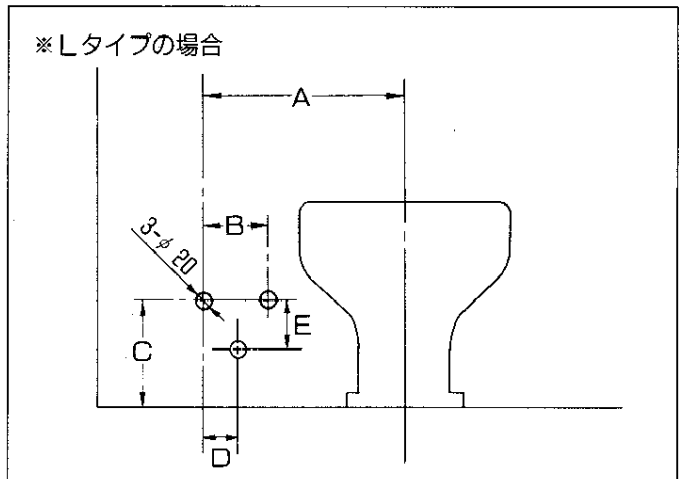


② $\phi 20$ のホルソーで前パネルに穴3ヵ所をあけてください。

〈Lタイプの場合〉

UBタイプ	寸法				
	A	B	C	D	E
ERZ 1620 ERZ 1418、1218	220	50	170	25	50
(旧) ERZ 1216、1116	220	40	170	20	50

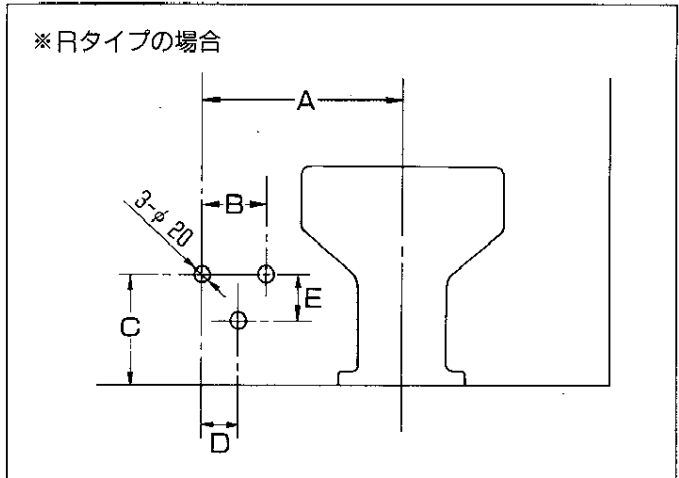
注) 穴径は全て $\phi 20$ です。



〈Rタイプの場合〉

UBタイプ	寸法				
	A	B	C	D	E
ERZ 1620	220	50	170	25	50
ERZ 1418、1218	220	50	170	25	50
(旧) ERZ 1216、1116	180	40	170	20	50

注) 穴あけしたのち、切屑が残らないように掃除してください。

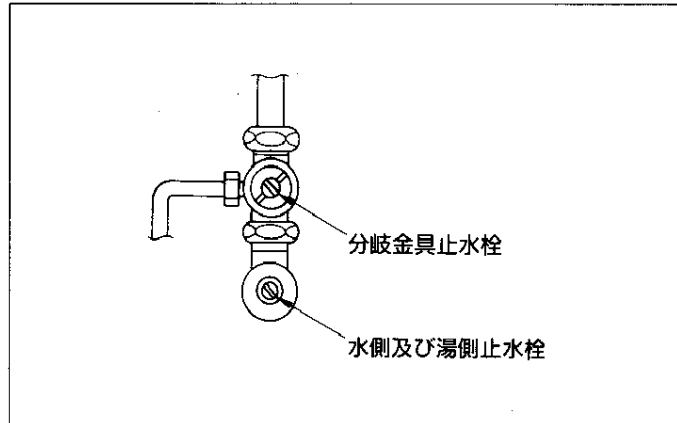


-
- ③ セットされている便座を取外し、ウォシュレット本体を便器へセットしてください。セット要領は、7ページ③、④項と同様です。
 - ④ 連結管2本・捨て水管1本を21ページ②項の要領でパネルの穴に通したのち、8ページ⑤項及び11ページ⑤項と同様にウォシュレット本体、分岐金具に接続してください。
 - ⑤ 捨て水管を23ページ⑥項の要領で、固定してください。
 - ⑥ 連結管及び捨て水管に23ページ⑦項の要領で化粧キャップを通し、パネルに固定してください。
 - ⑦ 乾電池をウォシュレット本体にセットしてください。セット要領は9ページ⑦項及び10ページ⑧、⑨項と同様です。
 - ⑧ 取付完了後、便座・便ふたにキズが付かないようにポリ袋をかぶせておいてください。

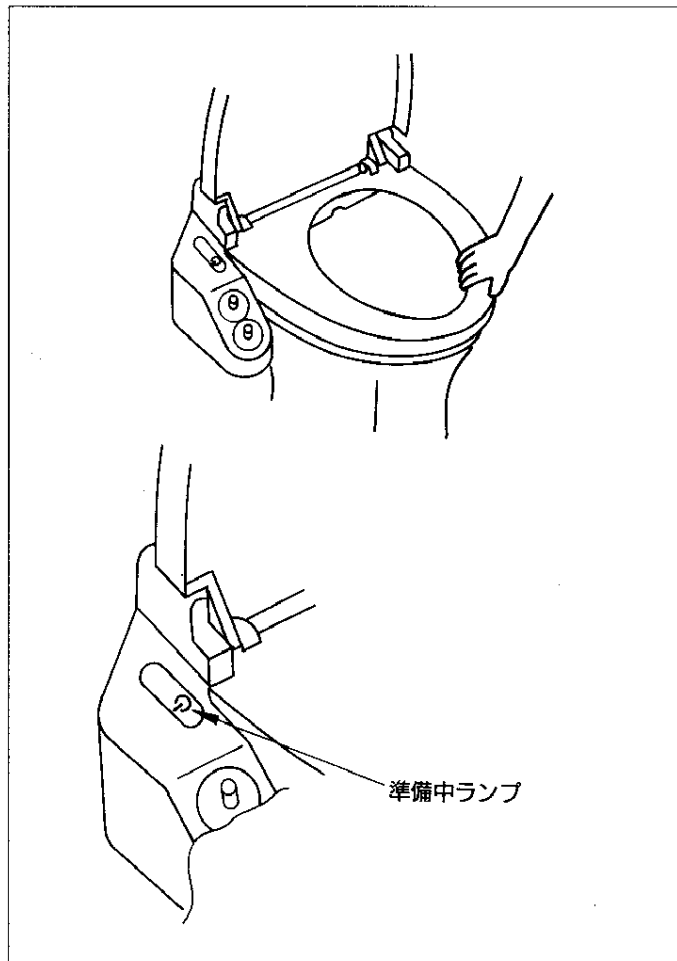
6 試運転



1 試運転の前に洗面器側の水側及び湯側止水栓を開き、湯水を出して汚れをとるとともに、給湯温度が高いことを確認したのち、ウォシュレットの試運転を行ってください。

- ① ウォシュレット用分岐金具の止水栓が開いているか確認してください。
止水栓が閉まっている場合は⊖ドライバーで開き、各配管から水漏れがないか確認してください。



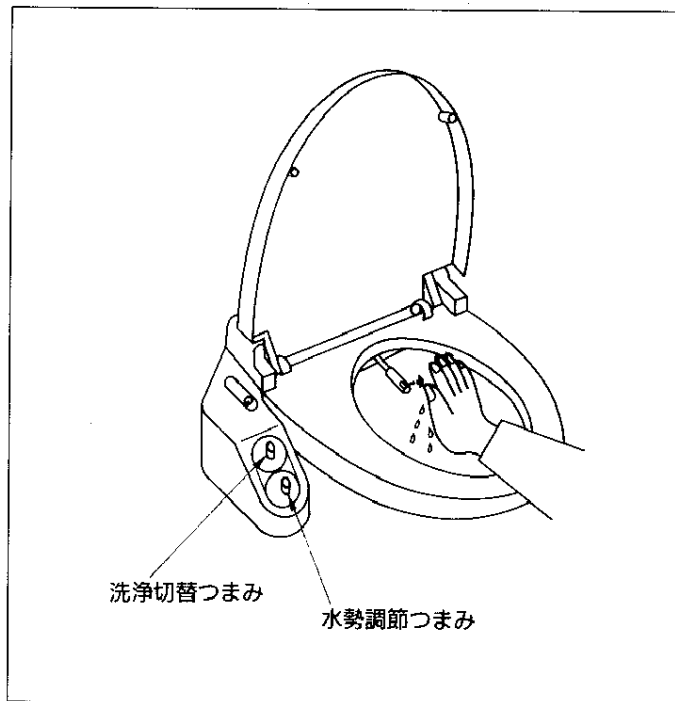
- ② 便座右側先端部を押し、着座スイッチを感知状態にしてから、2分以内に準備中ランプの点滅が消えることを確認してください。




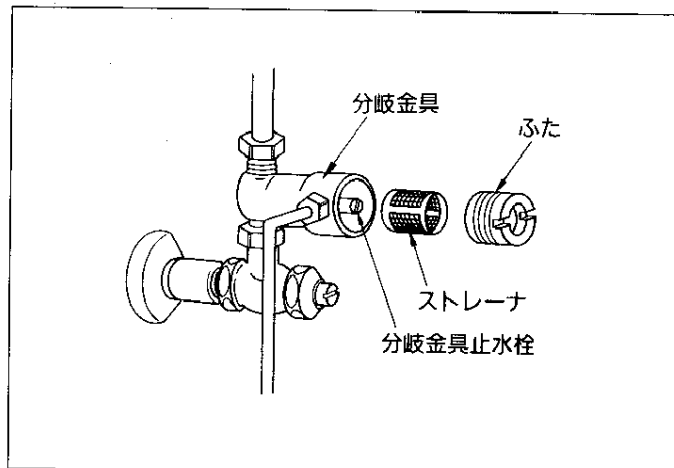
- ③ 便座右側先端部を押したまま、洗浄切替つまみをおしり洗浄  またはビデ洗浄  の位置へ回すと、ノズルが伸出してノズル先端から吐水することを確認してください。

※ 洗浄水が飛び散らないように手のひらで受けてください。

※ 便座右側先端部に着座スイッチが設置されていますので、ここを押えたままで洗浄テストを行ってください。



- ④ 適温の温水が出ることを確認してください。
- ⑤ ウォシュレット本体及び接続部分からの水漏れがないことを確認してください。
- ⑥ 洗浄水の水勢が水勢調節つまみを回して調節できることを確認してください。
(水勢調節つまみを右(+側)に回すと強くなり、左(-側)に回すと弱くなります。)
- ⑦ 洗浄切替つまみを止  にもどして、ノズルを収納位置にもどしてください。
- ⑧ ストレーナに水あかやゴミが詰まると適正な性能が得られなくなりますので、試運転後、分岐金具止水栓を閉じたのち、ふたを外し、必ずストレーナを掃除してください。



以上の確認作業が終わりましたら、ウォシュレットの取付けは完了です。
UBの清掃、コーキングを行ってください。